

科目名	人文学演習 I E					単位	2.0
担当教員	眞有 澄香						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	3333

●授業のテーマ

日本近現代文学の研究

●到達目標

日本近現代文学に関心を持つ。その上で、自分が研究したいテーマについて、その問題意識をわかりやすく説明できる。

●学習内容(授業概要)

明治以降の日本では、封建制度からの脱却を計り、民主化を進めながら、実は旧弊の価値規範が根深く残存していた。日本近現代文学は、そうした旧来の因習と自我との葛藤であったといっている。本演習では、日本近現代文学を対象として、各自が研究する作家・作品についてそれぞれ調査・研究を行い、その成果を発表する。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. ガイダンス
2. 日本近現代文学の流れを掴む—明治期
3. 日本近現代文学の流れを掴む—大正・昭和期
4. 自分の研究テーマを探す—作家と作品
5. 自分の研究テーマを探す—作品と社会
6. 研究方法を学ぶ—作家論について
7. 研究方法を学ぶ—作品論について
8. 調査方法について—書誌研究
9. 調査方法について—先行研究
10. プレゼンテーション—問題意識
11. プレゼンテーション—研究の方向性
12. プレゼンテーション—方法論
13. 研究内容の検討—テーマの確認
14. 研究内容の検討—研究方法の問題点
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに自分の意見をまとめておく。授業後は、自分のテーマについて調べる。

●成績評価方法・基準

期末レポート(80%)に、受講態度や研究への取り組み(20%)を加味して評価する。

●テキスト(必携)

特になし

●参考文献／その他
授業時に適宜指示する。

●履修上の注意
特別な理由がない限り欠席しないこと。
発表の準備や研究への真摯な取り組みはもちろん、
他の学生の発表にも積極的、意欲的に参加すること。